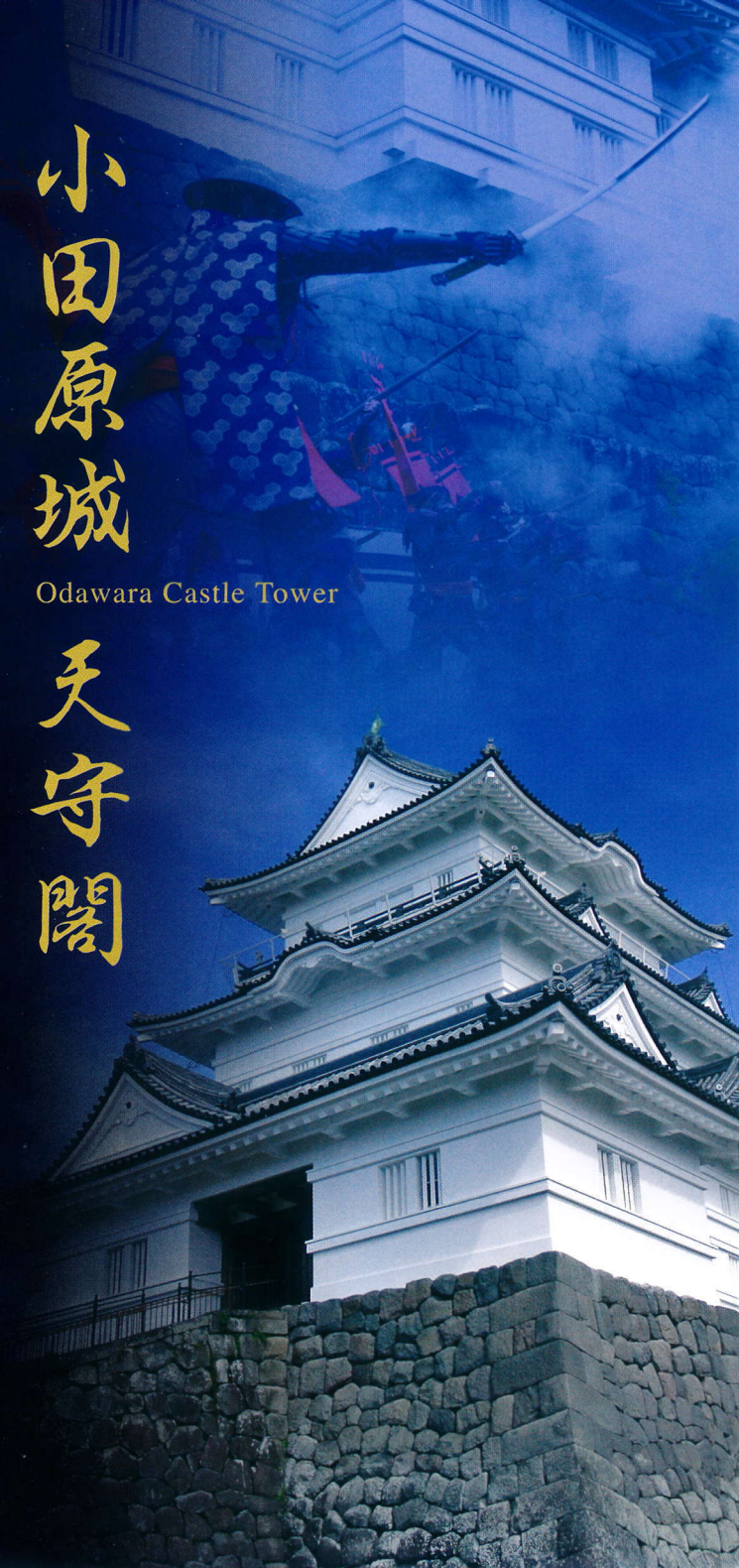


小田原城

Odawara Castle Tower

天守閣



天守最上階 展望デッキからの眺望



企画展示室4 その後の小田原城

明治時代から現代に至る小田原城の歴史を、古写真を中心に紹介します。

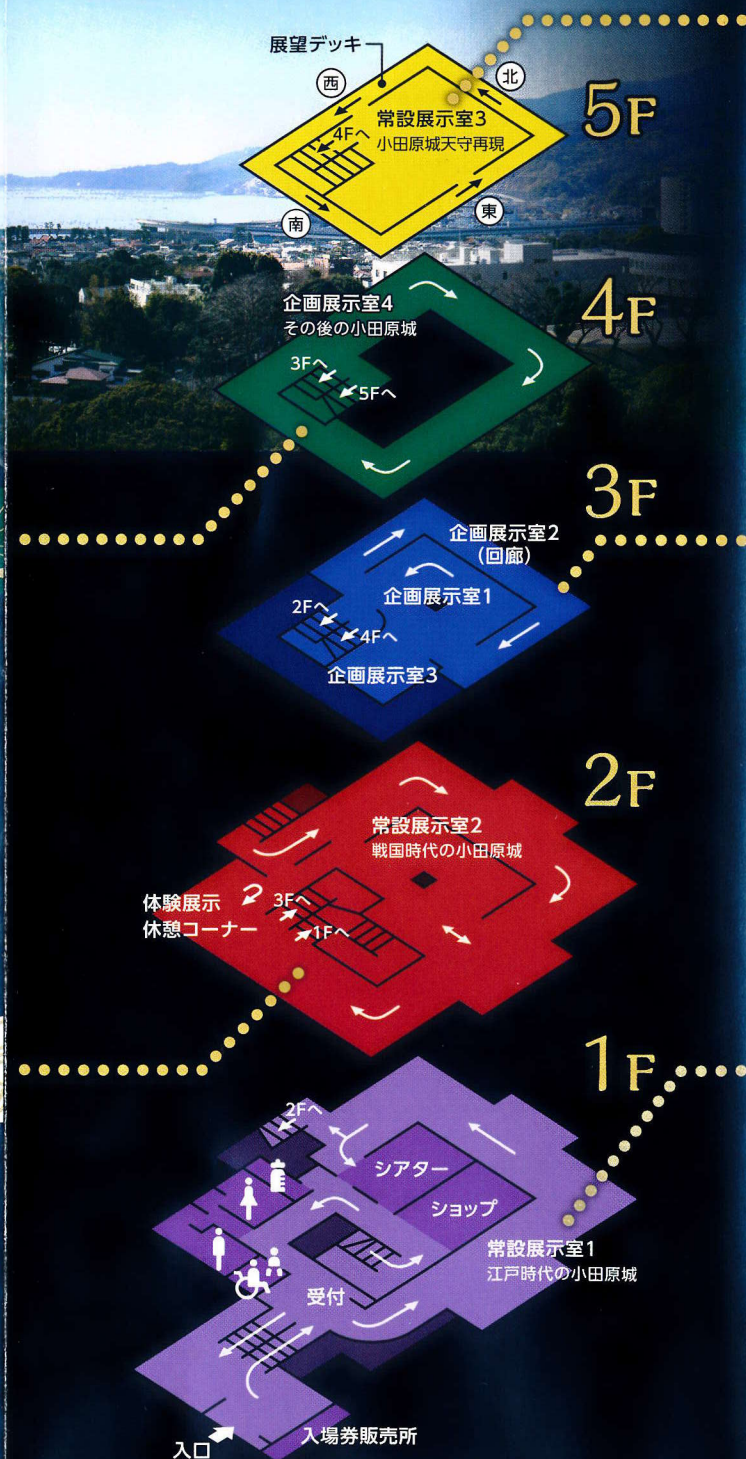
※時期により展示内容が変更になる場合があります。



解体中の天守 明治3年(1870)頃

常設展示室2 戦国時代の小田原城

小田原城を本拠とした戦国大名小田原北条氏の事績と、歴史上名高い小田原合戦について紹介します。



※各階の色は、北条氏康の馬印「五色段々」をイメージしています。

常設展示室3 小田原城天守再現

江戸時代に天守にまつられていた摩利支天像の安置空間を再現し、再現に生かされた職人の技を映像で紹介します。



企画展示室1 企画展示室2(回廊) 企画展示室3

小田原ゆかりの美術工芸や甲冑・刀剣、小田原城周辺の発掘調査成果などを紹介します。

※特別展等開催時には展示内容が変更になる場合があります。



常設展示室1 江戸時代の小田原城

江戸の西を守る小田原城の役割や徳川將軍家との関わり、東海道の宿場町小田原の繁栄を紹介します。



小田原城 略年表

応永24年	1417	上杉禅秀の乱の戦功で大森氏が小田原周辺の領地を得る
文亀元年	1501	この頃までに北条早雲(伊勢宗瑞)が小田原城に進出する
永禄4年	1561	上杉謙信に小田原城を攻められるも、籠城戦で退ける
永禄12年	1569	武田信玄に小田原城を攻められるも、籠城戦で退ける
天正15年	1587	「相府大普請」、小田原城総構の構築が始まる
天正18年	1590	小田原合戦、豊臣秀吉の前に開城し、秀吉の天下統一が成る 徳川家康の重臣大久保忠世が城主となる(約4万5000石)
慶長19年	1614	大久保忠隣が改易され小田原城破却、幕府直轄の番城となる
元和5年	1619	阿部正次が城主となる(約5万石)
寛永元年	1624	再び幕府直轄の番城となる 小田原城を二代将軍徳川秀忠の隠居城とする計画が立てられる
寛永9年	1632	稲葉正勝が城主となる(約8万5000石)
寛永10年	1633	小田原城の修築工事が開始される 寛永小田原地震、修築中の城と城下に大きな被害が出る
寛永11年	1634	三代将軍徳川家光が小田原城に宿泊する
延宝3年	1675	寛永10年以来の小田原城の修築工事が完了する
延宝8年	1680	加増されて小田原藩領が最大になる(約11万7000石)
貞享3年	1686	大久保忠朝が城主となる(約10万3000石、のち1万石加増)
元禄16年	1703	元禄地震、天守をはじめ小田原城の諸施設が倒壊・焼失する
宝永3年	1706	元禄地震で失われた天守が竣工する
宝永4年	1707	富士山が噴火
天明2年	1782	天明地震、天守が傾く(ロクロで引き起こす)
嘉永5年	1852	小田原の海浜に3基の台場が完成する
嘉永6年	1853	相州小田原大地震、小田原城の櫓・石垣等に被害が出る
慶応元年	1865	十四代将軍徳川家茂が二の丸御屋形に宿泊する
明治3年	1870	廃城の願書を提出し、天守などが売却・解体される
明治26年	1893	天守跡地(天守台)に大久保神社が建てられる
明治34年	1901	小田原城址に御用邸が建てられる
大正12年	1923	大正関東大地震により石垣や二の丸隅櫓が倒壊する
昭和2年	1927	御用邸跡(小田原城址)が払い下げられる
昭和9年	1934	二の丸隅櫓が復興する
昭和13年	1938	小田原城址が国指定史跡となる(第1次指定)
昭和25年	1950	小田原こども文化博覧会が開催される
昭和35年	1960	天守閣が復興する
昭和46年	1971	常盤木門を再建する
平成9年	1997	銅門を復元する
平成21年	2009	馬出門を復元する
平成28年	2016	天守閣の耐震補強工事、展示の大規模リニューアルを行う